

請 願 書

【件名】石川と富山を結ぶ主要幹線道路そばに誘致する(仮称)ボートピア津幡建設計画の白紙撤回を求める請願

【要旨】地域交流の要となる主要道をギャンブル場から守り、心がやすらぐまちを実現するために場外舟券売り場はいらない。

【理由】先月、富山県小矢部市に「道の駅メルヘンおやべ」がオープンし、石川県からも多くの家族連れが訪れている。足湯や特産物販売の他にドッグランもあり、動物と触れ合う親子連れの憩いの場を提供している。ホームページも充実しており、今後の活動が期待される。少子化ばかりではなく、この先人口減少に向かう我が国を考えれば、今まさに地域の復活、人づくり、まちづくりの輪を広げる行動をおこさなければいけない。地域を結ぶ主要道は、そうした活動を支える環境としても位置づけられ、津幡町のみならず近隣市町村との連携が、相互のまちづくりの成功をもたらす。津幡町の高等教育機関である石川工業高等専門学校においても、地域ボランティアとして様々な地域貢献に参画することで地域連携を実践している。富山県では富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校が正式に合併し富山高等専門学校となり、新しくスーパー高専として生まれ変わった。富山県との学術交流、地域交流、文化交流の要となる主要道そばにギャンブル場(場外舟券売り場)があってはならない。緑あふれる森林公園を大切にし、「人にやさしい町」「活気あふれる町」「心が潤う町」「安全で安心な町」が公営ギャンブルと連携する必要は全くない。(仮称)ボートピア津幡建設計画の白紙撤回を求める。

以上、地方自治法第124条の規定によって請願します。

2009年11月17日

津幡町議会議長 谷口 正一 様

請願団体 石川工業高等専門学校有志による
津幡町のイメージアップを推進する会

代表 山田 健二 印

紹介議員 前田 幸子

中村 一子